

授業科目 精神保健看護学演習

【担当教員名】 西 川 薫		対象学年	2	対象学科	看護
		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 精神看護を実践するための具体的な知識と技法を修得する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 精神看護における対象関係論を理解する。 2. 対象者の人生を物語論的に関係づける。 3. 精神看護におけるセルフケアの意味を説明する。 4. プロセスレコードを通して自己理解、他者理解を実施する。 5. 事例検討を通して対象者を多角的に理解し看護の方向性について討議する。 6. 対象者に応じた看護目標を設定する。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1-6	—事例— 統合失調症患者が抱えている日常生活の障害 —日常生活に障害を持つ人の看護—			2, 3 5, 6	
1-6	—事例— うつ病患者が抱えている日常生活の障害 —対人関係論を活用した看護—			2, 3 5, 6	PBL 2事例のうち指定された1事例を実施
7	精神看護における対象関係論			1	講義、ビデオ
8	援助技法としてのプロセスレコードⅠ			1-4	講義
9	援助技法としてのプロセスレコードⅡ			1-4	講義
10	プロセスレコードの実例（例をもとにプロセスレコード作成）			1-4	演習、グループワーク
11	プロセスレコード検討			1-4	演習、グループワーク
12	家族システムとそのダイナミクス			1-6	講義、ビデオ
13	精神医療の歴史			1-6	講義、ビデオ
14	主な精神疾患看護			1-6	講義、ビデオ
15	感情と看護			1-6	講義、ビデオ
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		精神看護学ノート 第2版	武井麻子	医学書院	2005・2,000円＋税
参考書		実践看護技術学習テキスト 精神看護学	野嶋佐由美	日本看護協会	2002・3,900円＋税
その他の資料					
【評価方法】 出席状況・・・(10%) レポート・・・(10%) PBLへの取り組み・・・(30%) 筆記試験・・・(50%)			【履修上の留意点】 PBL、プロセスレコードの検討では積極的な意見交換をおこないます。		